

犬のぬいぐるみ 修理記録

平成 28 年 1 月 28 日

ドクター：竹内博則



1. 症状

電池ボックスのビスが回らず、電池交換ができない。

2. 診察

(ア) 電池ボックスの蓋をマイナスドライバーで開ける

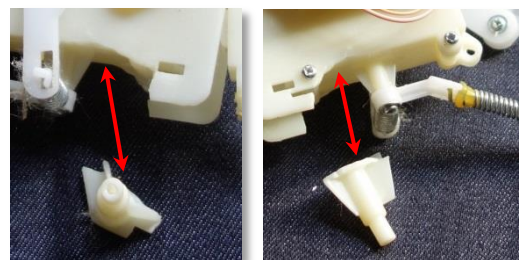
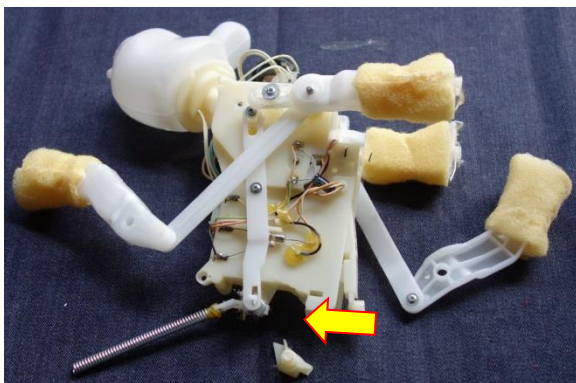
- ・ 蓋を固定しているビスの頭が潰れている (+ドライバーでは回らない)
- ・ 乾電池が液漏れ

3. 分解

- ・ 電池バネを磨こうと、ぬいぐるみを外す



- ・ あ、後ろ脚の支点部分が破断している、それも両足共



右破断

左破断

犬のぬいぐるみ 修理記録

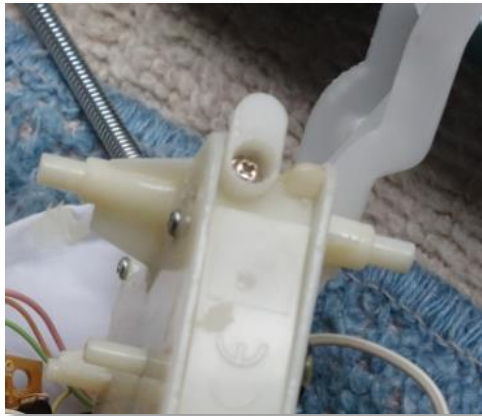
平成 28 年 1 月 28 日

ドクター：竹内博則

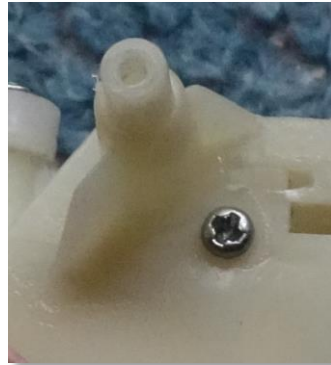
4. 治療（修理）

- ・電池ボックス蓋ビス交換
- ・電池バネを磨く
- ・後ろ足支点の補修

後ろ足の支点には相当の荷重がかかると思われるので、単に接着剤ではもたないので補強が必要、よって、「**プラリペア**」で補修する。



両側ともプラリペアで



左足用



右足用

5. 組立・完了



※今回苦労した点

- ・縫いぐるみがどこから外れるのか、探すのに時間がかかった。また、縫い合わせも大変。
- ・当初は電池ボックスのみと予定していたが、新たな故障部分が見つかった。
(ただし、結果的には支点軸の破断が早く見つかってよかった)
- ・支点軸の破断補修が難しかった。